

Press Release

2006年12月21日

日本オラクル、上半期増収増益を発表 上半期として過去最高の売上高、中間純利益を達成 アプリケーションとミドルウェアの成長が牽引

日本オラクル株式会社（本社：千代田区紀尾井町4-1、代表取締役社長：新宅正明）は本日2007年5月期の上半期決算が増収増益となったことを発表しました。

売上高は前期比で10.7%成長し457億85百万円、中間純利益は22.1%増の98億22百万円となり、売上高ならびに中間純利益は上半期における過去最高を更新しました。また、営業利益は15.2%増の156億39百万円、営業利益率34.2%、経常利益は15.9%増の158億9百万円、経常利益率34.5%となりました。

当中間期業績では米国オラクル・コーポレーションによる買収に伴い製品ラインアップと顧客のカバレッジを拡充してきたアプリケーション製品事業が164.6%の大幅な成長を遂げ、また、SOAやビジネスインテリジェンス、セキュリティ、日本版SOX法対応など旺盛な企業のIT投資需要に対応したミドルウェア製品群は54.2%成長するなど、日本オラクルが成長基盤として注力している製品事業分野が大きな伸張を示しました。また、アップデート&プロダクトサポートが10.1%成長したほか、より高度で付加価値の高いサポートを提供するアドバンスト・サポートは36.6%成長、エデュケーションサービスは7.1%成長、コンサルティングサービスは18.2%成長と、サービス部門もすべて成長し、すべての事業部門が増収となりました。

■ 本件に関するお問い合わせ先

日本オラクル株式会社 広報部 玉川

Tel: 03-6238-8178 Fax: 03-5213-6990

E-mail: Takeo.Tamagawa@oracle.com

プレスルーム <http://www.oracle.co.jp/press/>

*Oracleは、米国オラクル・コーポレーション及びその子会社、関連会社の、米国またはその他の地域における商標または登録商標です。その他のブランドまたは製品は、それぞれを保有する各社の商標または登録商標です。